

＜ 競 技 注 意 事 項 ＞

- 1 本大会は、2010年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会規定にもとづいて競技を行う。
- 2 選手の招集場所は、次のとおりとする。
 - ・主競技場での種目：雨天練習場西側（フィニッシュライン側）
 - ・補助競技場での種目（中長距離種目・中学男女走幅跳）：サブトラック入口付近
- 3 招集時刻は、次のとおりとする。
 - ・トラック競技：競技開始時刻の30分前開始、20分前完了。
 - ・フィールド競技：競技開始時刻の40分前開始、30分前完了。

＜招集の手順＞

- ① 招集開始時刻に招集場で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカードとスパイクピンの点検を受ける。
 - ② 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係に申し出る。その場合、代理人の点呼を認める。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
- ※ プログラム記載のナンバーカードや氏名に訂正がある場合は、ただちに本部総務員に申し出ること。

- 4 ナンバーカードは、規定に従った登録番号のものを胸・背につける（カードを折り曲げない）。トラック競技は、各自のレーン番号をプログラムで確認し、腰ナンバーを右側の腰につけること。腰ナンバーは高校生を除き、最終点呼時に競技者係より渡す。種目によっては別ナンバーを使用することがあるので、競技者係の指示に従うこと。なお、別ナンバーおよび腰ナンバーはレース後すぐに返却すること。（高校生は、各校保有の腰ナンバーを使用すること。）
- 5 レーン順・試技順は、プログラム記載順とする。決勝進出者は、番組編成の掲示を確認すること。

6 トラック種目について

- (1) 予選はすべてタイムレースとし、上位8名が決勝に進出する。ただし、一般高校男子1500mは上位12名、中学男女1500mは上位15名が決勝に進出する。
- (2) 小学男女100m・4×100m R、小学女子800m、小学男子1500m、中学男子3000m、一般高校男女400mH、一般高校男子5000mの各種目は、タイムレース決勝とする。
- (3) 1500m以上の各種目は、別ナンバーカードを渡す。
- (4) リレーのオーダー用紙の提出は、次のとおりとする。（プログラム最終ページのものを使用する。）

提出先	提出時刻
予選：競技者係	すべての種目について、9:00～10:00
決勝：番組編成	オーダー変更の有無に関わらず、競技開始時刻の1時間前までに提出

7 フィールド種目について

- (1) 測定基準記録は以下のとおりとする。

種目	中男走幅跳	中女走幅跳	一高男走幅跳	一高女走幅跳	一高男三段跳
記録	5m00	4m00	5m80	4m40	全員計測
種目	中男砲丸投	中女砲丸投	中男円盤投	中女円盤投	中男三段跳
記録	8m00	7m00	全員計測	15m00	10m50

- (2) バーの上げ方は以下のとおりとする。（練習は5cm下の高さ）

一高男走高跳	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	以降3cmずつ上げる
一高女走高跳	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降3cmずつ上げる		
中男走高跳	1.40	1.45	1.50	1.55	以降3cmずつ上げる			
中女走高跳	1.25	1.30	1.35	1.40	以降3cmずつ上げる			

- (3) やりは、下記の場所・時刻に検査を受けたものだけ各自のものを使用することができる。
 検査場所：フィニッシュ地点側用器具庫内
 検査時刻：女子 → 11:15～11:25 男子 → 12:45～12:55

8 その他

- (1) ウォーミングアップは、主競技場において競技に支障のないよう行うこと（投てき競技を除く）。
- (2) スターティングブロックは、競技場備え付けのものを使用すること。
- (3) スパイクは、9mm以下の全天候用のものを使用すること。（走高跳・やり投は12mm以下）
- (4) 申込後の選手変更は、認めない。
- (5) 貴重品の管理は、各自が責任をもって行うこと。（盗難、置き引き防止）
- (6) 番組編成および結果は、Cゲート付近通路に掲示する。
- (7) 割り当てられている各学校の補助員は、8:10に主競技場本部前に集合して指示を受けること。
- (8) 各種目1位には賞状・メダル、2・3位には賞状があるので、主競技場本部へ取りに来ること。小学生の各種目は、上位6位までの表彰式を本部前で行うので、入賞者は競技終了後に集合すること。